

北海道大野農業高等学校 事務職員 岩浪 祐太 令和元年度採用(教育行政A)



○主な経歴

H31.4 上川高等学校

R5.4 大野農業高等学校

－北海道の教育行政を選んだ理由－

行政職員の立場から様々な課題を抱える教育現場をより良くしたいという思いがあったからです。少子化が進む時代では教育の重要性は増していきばかりだと思えます。そのような中で行政職員として教育の充実を目指して仕事に取り組むことができることにやりがいを感じました。

－担当業務とそのやりがい－

主に、実習の生産品収入の集計業務を担当しています。実習や生産品の販売会を通して地域の方と接することが多く、その際は学校と地域の連携に携わっていると感じ、教育の支えになっていることにやりがいを感じます。また、生産品が美味しかったと地域の方々から感想をいただいたときなどは嬉しく思います。

－道教委の仕事の魅力（北海道で働くことの魅力）－

学校や教育局、本庁など勤務先が多様で、様々なキャリアプランを思い描くことができる点に魅力があると思えます。また勤務先が多様であっても全職員が“生徒のために”という共通理念を持って仕事に臨むことができるのも一体感が感じられ仕事のモチベーションにつながります。

－所属の雰囲気（はたらきやすさ）－

豊かな自然に囲まれた広大な校舎の敷地は開放感があり、リラックスできる環境です。先生方は協力的な方が多く、お互いに困ったときは助け合いながら仕事に取り組むことができます。

－異動を経験してみて（係異動も含む）－

普通科高校から農業高校への異動だったので、農業高校ならではの業務も多く、初めは困惑しましたが、周りの方からのサポートもあり、今では対応できる業務の幅が少しずつ広がっていることを実感しています。

－余暇の過ごし方－

後志や胆振方面へ長距離ドライブをしたり、渡島近郊を観光したりして過ごしています。異動してきて初めての土地で、今まで知らなかった場所を訪ねることはワクワクします。また、道南の温暖な気候の中で、四季折々の自然を感じることができ、良い気分転換になっています。

－これから教育行政区分の試験を受験する方・採用予定者へのエール－

教育現場は大変なこともたくさんありますが、その分やりがいもたくさんあります。皆さんと一緒に働くことができるのを楽しみにしています。